

2021年度第3四半期 決算報告書

プレスリリース
2021年10月29日、パリ発



業績が力強く伸長、ジョーズ効果はポジティブ

営業収益の伸長が継続
2020年度第3四半期比+4.7%
(2019年度第3四半期比+4.6%)

投資と事業開発に注力
ジョーズ効果はポジティブ
コスト：2020年度第3四半期比+3.8%
(2019年度第3四半期比-0.1%)

リスク費用は低水準：32bp¹

営業利益が事業部門全てで急増
32億8,000万ユーロ：2020年度第3四半期比+31.1%
(2019年度第3四半期比+24.8%)

高水準の成果を達成
純利益²が前年同期・前々年同期比で力強く増加
純利益²：25億300万ユーロ（2020年度第3四半期比+32.2%）
(2019年度第3四半期比+29.2%)

バランスシートは盤石
普通株式等Tier 1比率³：13.0%

自社株買いを9億ユーロ規模で2021年11月1日に開始⁴

通期決算の発表（2022年2月8日）に合わせ、戦略的事業計画を公表予定
INVESTOR DAYを2022年3月14日に開催

1. リスク費用+顧客向け融資期首残高；2. 親会社株主帰属純利益；3. 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む；4. 欧州中央銀行（ECB）の承認を取得済み。2021年10月29日発表のプレスリリースを参照されたい。



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



BNPパリバの取締役会が2021年10月28日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2021年度第3四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に以下のように述べました。

「BNPパリバの決算は底堅く、これまでの回復を超える成長の可能性を裏付けています。BNPパリバは、独特なビジネスモデルの強みを活かし、事業開発を加速し続けており、お客様や経済に貢献する投資も続けています。

我々はデジタル・事業変革の推進により日々効率性を高め、お客様の新たな行動様式に対応し、より踏み込んだ投資助言をご提供しています。

現在、BNPパリバは従来以上に経営資源と専門知識を全面的に結集し、個人・法人・機関投資家のお客様のエネルギー転換をご支援し、その変革に寄り添い、共に持続可能な経済成長の実現に貢献しています。我々のリーダーシップは広く認められており、そのスタンスはグループの事業とプラットフォーム全てで過去10年間に強まっています。

BNPパリバの世界中のチーム全てに謝意を表します。お客様のために結集してきたその一貫した姿勢により、我々への信頼は欧州のみならず世界全体で大きく高まっています。」

*
* *

堅実なビジネスモデルで力強い業績を実現

BNPパリバ・グループは、多角的かつ統合的なビジネスモデルの強みを堅持し、これまでの回復を超える成長の可能性を強固にしています。当四半期も公衆衛生状況の改善が寄与し、事業のモメンタムは極めて堅調で、堅実な決算を実現し、2019年度の決算を大きく超えました。

BNPパリバは営業収益の力強い伸びを達成し、高水準のジョーズ効果を生み出す一方、節度を持って目標を絞った投資を続け、成長を支えました。また、リスク費用は低水準で、45～55bpレンジを下回りました。

当グループ全体の当四半期の営業収益は113億9,800万ユーロに上り、2020年度第3四半期比4.7%増、2019年度第3四半期比4.6%増でした。国内市場部門とウェルス&アセット・マネジメント部門が極めて好調だったことに加え、ホールセールバンキング（CIB）部門も堅調で3部門（コーポレートバンキング、グローバル・マーケット、証券管理）が全て増収を果たしました。

事業部門の当四半期の営業収益は前年同期比3.0%増でした。国内市場部門¹の営業収益は大幅に伸び（前年同期比6.3%増）、中でもリテールバンキング業務の堅実な業績と専門的金融業務の力強い伸びが貢献しました。国際金融サービス部門の営業収益は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比3.0%減、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同1.0%減でした。資金の呼び込みを基盤とする事業は堅調な増収を記録しましたが、国際リテールバンキング業務がやや精彩に欠け、また、保険事業とパーソナル・ファイナンスの寄与も低下し、相殺されました。CIB部門の営業収益は2020年度第3四半期比6.4%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.1%）、2019年度第3四半期比24.9%増と高水準の伸びを達成しています。

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）



営業費用はグループ全体で当四半期は74億1,200万ユーロでした。投資と事業開発により2020年度第3四半期比で3.8%増、2019年度第3四半期比では0.1%減でした。ジョーズ効果は良好でした(+0.9ポイント)。当四半期の営業費用の中には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²(2,000万ユーロ)、および、IT強化費用(4,200万ユーロ)が合計6,200万ユーロ含まれています(前年同期の合計額は1億600万ユーロ)。

事業部門の当四半期の営業費用は前年同期比3.7%増でした。国内市場部門³は2.0%増で、専門的金融業務の伸びに伴って費用が嵩みましたが、リテールバンキング業務の厳格なコスト管理で抑制しています。ジョーズ効果は極めて高水準でした(+4.3ポイント)。国際金融サービス部門の営業費用は3.5%増⁴で、資金の呼び込みを基盤とする事業や目標を絞った取り組みの支援に関連して増加しました。CIB部門の営業費用は投資や事業開発支援に伴って膨らみ前年同期比5.9%増⁵でしたが、ジョーズ効果は+0.5ポイントでした。

営業総利益はグループ全体で当四半期に39億8,600万ユーロとなり、2020年度第3四半期比で6.4%増、2019年度第3四半期比で14.7%の大幅増益でした。

リスク費用はグループ全体で当四半期は7億600万ユーロと前年同期比5億3,900万ユーロ削減し、顧客向け融資残高の32bp相当と低水準でした。この低さは当四半期において正常債権(ステージ1と2)の引当金取崩が小幅だったこと、新たな債務不履行の数の少なさを反映しています。

これらを受けて、営業利益はグループ全体で当四半期に32億8,000万ユーロとなり、2020年度第3四半期比で31.1%増、2019年度第3四半期比で24.8%増の大幅増益でした。事業部門全てが増益を果たしました。

営業外項目は、当四半期に1億7,000万ユーロの利益となり、前年同期の1億6,800万ユーロの利益を上回りました。当四半期の営業外項目の中には、一時項目として、Allfunds株売却⁶による譲渡益1億4,400万ユーロが含まれていますが、一時項目であるのれんの減損損失(-1億4,900万ユーロ)で相殺されました。なお、前年同期の営業外項目には一時項目として建物売却による譲渡益4,100万ユーロが反映されていました。

税引前利益はグループ全体で当四半期に34億5,000万ユーロに上り、2020年度第3四半期(26億7,100万ユーロ)に比べて29.2%の急増、2019年度第3四半期比でも23.0%の大幅増でした。

当四半期の平均法人税率は24.7%でした。

以上から、当グループの株主帰属純利益は当四半期に25億300万ユーロに達し、2020年度第3四半期比32.2%増、2019年度第3四半期比29.2%増と極めて堅調でした。なお、一時項目による影響⁷を除くと25億9,500万ユーロで、2020年度第3四半期比33.8%増、2019年度第3四半期比22.7%増でした。

¹ 特に特定の事業(とりわけCIB部門)の中止・再編に関連

² 特にCIB部門とバンクウェストに関連

³ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む(PEL/CELの影響を除く)

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.9%

⁵ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.5%

⁶ Allfunds持分1.97%の売却(残部持分は13.81%)

⁷ 一時項目による影響(税引後): 2021年度第3四半期は-9,200万ユーロ、2020年度第3四半期は-4,600万ユーロ、2019年度第3四半期は-1億7,800万ユーロ



当グループの普通株式等Tier 1比率は2021年9月末現在13.0%¹で、2021年6月末比10bp上昇しています。当グループの即時利用可能な余剰資金は4,780億ユーロに上っており、これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。レバレッジ比率²は3.9%でした。

1株当たり有形純資産額³は2021年9月末現在76.8ユーロに達し、2008年12月末からの年平均成長率は7.1%に相当し、当グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を備えていることを裏付けています。

当グループは内部統制体制の強化を継続しています。

当グループは社会に深く関わる意欲的方針の遂行を続けており、社会的課題への対応を事業活動の中心に据えています。BNPパリバでは社会的責任（CSR）方針と企業目的により社会的包摂をビジネスモデルの礎とし、事業分野全てが社会的インパクト活動に向けて結集し、具体的な取り組みやコミットメントを通じて表現しています。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、グループ全体の営業収益は350億300万ユーロに上り、2020年度同期比4.6%の増収、2019年度同期比5.2%の増収でした。

事業部門の営業収益は前年同期比2.8%増⁴でした。国内市場部門⁵はリテールバンキング業務の好調な伸びや専門的金融業務（特にアルバル）の極めて堅調な伸びに支えられ、5.6%の増収でした。国際金融サービス部門では、資金の呼び込みを基盤とする事業とバンクウェストの力強い伸びが他の事業の不振を補い、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと1.6%増⁶でした。CIB部門では、2020年度に目覚ましい成果を記録した後も増収が続いています（前年同期比+5.0%）。

営業費用は、投資と事業開発を反映し、グループ全体で231億8,100万ユーロと前年同期比2.4%増加しました。この中には、一時項目として、事業再編費用⁷と事業適応費用⁸（1億300万ユーロ）、および、IT強化費用（1億700万ユーロ）が合計2億1,000万ユーロ含まれています（前年同期は3億4,600万ユーロ）。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+2.2ポイント）。

営業費用の中には2021年度に納付する税金・拠出金（特に単一破綻処理基金への拠出金）のほぼ全額、14億9,100万ユーロが含まれています（前年同期は13億500万ユーロ）。

事業部門の営業費用は前年同期比1.9%増でした。国内市場部門⁵では、専門的金融業務の伸びやリテールバンキング業務の回復を支える費用が嵩みましたが、事業適応策で抑制し、1.7%増でした。ジョーズ効果は良好でした。国際金融サービス部門は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと3.3%増⁹でした。事業開発の支援が費用増の要因です。CIB部門では、投資と事業開発に加え、国際財務報告基準解釈指針委員会（IFRIC）第21号（以下「IFRIC21」）「賦課金」の影響もあり、4.8%増でした。

¹ 資本要求指令4（CRD4）；国際財務報告基準（IFRS）第9号経過規定を含む

² ECBの2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度（ユーロシステム）への預金関連の一時的免除を選択せず、規則（EU）2019/876に従って算定。

³ 再評価後

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.8%

⁵ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

⁶ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-1.9%

⁷ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

⁸ 特にバンクウェストとCIB部門に関連

⁹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-0.4%



営業総利益はグループ全体で118億2,200万ユーロとなり、2020年度同期（108億1,600万ユーロ）比で9.3%増益、2019年度同期比で18.7%増益でした。事業部門の営業総利益は前年同期比4.6%増でした。

リスク費用は24億1,500万ユーロで、前年同期に比べて17億300万ユーロ削減し、顧客向け融資残高の37bp相当でした。

これらを受けて、営業利益はグループ全体で当第3四半期累計期間に94億700万ユーロとなり、前年同期（66億9,800万ユーロ）と比べ、40.4%の大幅増益を果たしました。事業部門の営業利益も同31.5%の大幅増でした。

営業外項目は、グループ全体で当第3四半期累計期間に10億6,000万ユーロの利益となり、前年同期の8億9,400万ユーロの利益を上回りました。当第3四半期累計期間の営業外項目には、一時項目として、Allfunds株売却¹による譲渡益（+4億4,400万ユーロ）、建物売却による譲渡益（+3億200万ユーロ）、BNPパリバ・アセットマネジメントの持分売却による譲渡益（+9,600万ユーロ）、当四半期ののれんの減損損失（-1億4,900万ユーロ）が含まれています。なお、前年同期の営業外項目には、一時項目として、複数の建物売却による譲渡益（+5億600万ユーロ）が含まれていました。

税引前利益は当第3四半期累計期間に104億6,700万ユーロに達し、2020年度同期（75億9,200万ユーロ）比で37.9%増、2019年度同期比で18.1%増の大幅増益でした。

当第3四半期累計期間の法人税率は平均で29.5%でした。これは主にIFRIC 21「賦課金」により税金・拠出金が第1四半期に通年分の全額が計上され、その大半は税控除できないことによるものです。

以上から、グループ全体の株主帰属純利益は当第3四半期累計期間に71億8,200万ユーロとなり、2020年度同期比31.2%増、2019年度同期比13.6%増の高い伸びを計上しました。

有形自己資本利益率（ROTE）は当第3四半期累計期間に年率10.4%となり、当グループが多角的かつ統合的なビジネスモデルで生み出した堅実な業績を反映しています。

BNPパリバは盤石なバランスシートと好業績に裏打ちされた成長余地を考慮し、自社株買いの実施を2021年10月29日に発表しました。11月1日に9億ユーロ規模で開始し、2022年2月8日までに完了する予定です²。

¹ Allfunds持分8.69%の売却（残部持分は13.81%）

² ECBの承認を取得済み。2021年10月29日発表のプレスリリースを参照されたい。



リテールバンキング&サービス事業

国内市場部門

国内市場部門の当四半期の業績は事業活動の増加により良好でした。融資残高は前年同期比3.0%増え、業務全てで増加を記録し¹、特に個人・法人向け貸出が好調でした。預金残高は公衆衛生危機が顧客行動に及ぼした影響により前年同期比6.4%増加しました。金融貯蓄商品は力強く伸び、オフバランス貯蓄商品も堅調でした（2020年9月末比+14.4%）。プライベート・バンキングへの資金純流入は18億ユーロ近くに達しています。国内市場部門は決済事業の拡大を続けており、フランスのウェブ/モバイル決済最大手FLOA bankの買収を進めています²。

デジタルツールの利用は加速を続け、モバイルアプリへの月次接続回数は1億5,100万回を超え³、前年同期比27.3%増でした。

営業収益⁴は、当四半期は41億1,200万ユーロ、前年同期比6.3%の増収でした。リテールバンキング業務⁵の営業収益の伸びが全般的に高く（+5.1%）、特に手数料収入が大幅に増え、専門的金融業務を手掛ける子会社も堅調で、低金利環境によるマイナス影響を上回りました。専門的金融業務の伸びは続き、アルバル、リーシング・ソリューションズ、Nickelは大幅増でした。

営業費用⁴は、当四半期は事業開発の支援で嵩み、25億9,500万ユーロと前年同期比2.0%増でした。リテールバンキング業務⁵ではコスト削減策が奏功し0.8%増に留まりましたが、専門的金融業務では事業活動の伸びに伴って増加しました（7.7%増）。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+4.3ポイント）。

これらを受けて、営業総利益⁴は当四半期に15億1,800万ユーロとなり、前年同期比14.6%増の高い伸びでした。

リスク費用⁴は3億4,300万ユーロと低位でした（前年同期は3億5,300万ユーロ）。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁶は当四半期に11億7,600万ユーロとなり、前年同期比27.4%増の大幅増益でした。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、国内市場部門の営業収益⁴は121億4,500万ユーロ、前年同期比5.6%の増収でした。リテールバンキング業務の営業収益の増加（主に手数料収入の増加、特に金融手数料）に加え、融資の伸びもあり、また、専門的金融業務を手掛ける子会社による力強い寄与も重なり、低金利環境によるマイナス影響を一部相殺しました。専門的金融業務の増収は顕著でした（アルバルの高い伸びを含む）。営業費用⁴は80億9,400万ユーロ、前年同期比1.7%増でした。リテールバンキング業務の営業費用はほぼ横ばいでしたが、専門的金融業務は事業の伸びに伴ってコスト増が生じました。これらを受けて、営業総利益⁴は40億5,100万ユーロとなり、前年同期比14.3%の増益でした。リスク費用⁴は9億4,200万ユーロと前年同期に比べ5,600万ユーロの削減でした。以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益⁷は当第3四半期累計期間に29億9,400万ユーロとなり、前年同期比25.8%の大幅増益でした。

¹ BNLバンカ・コメルシアレの不良債権を除く。

² 必要な承認の取得を条件として、FLOA bank買収の独占交渉契約に署名。

³ 第3四半期の平均値。範囲：国内市場部門のリテールバンキング支店またはデジタルバンクの個人顧客、法人顧客、プライベート・バンキング顧客（ドイツ、オーストリアを含む）、およびNickel。

⁴ フランス（PEL/CELの影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁵ フランス国内リテールバンキング、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング

⁶ PEL/CELの影響を除く：2021年度第3四半期は+300万ユーロ；2020年度第3四半期は+100万ユーロ

⁷ PEL/CELの影響を除く：2021年度第3四半期累計期間は+2,400万ユーロ；2020年度第3四半期累計期間は+300万ユーロ



フランス国内リテールバンキング (FRB)

FRBの業績は順調な事業活動を背景に大きく上向きしました。融資残高は特に個人向け貸出の増加に牽引され（住宅ローンの組成が引き続き堅調）、前年同期比2.8%増でした。預金残高は、法人預金残高では前年割れながら、公衆衛生危機が顧客行動に及ぼした影響により前年同期比4.1%増加しています。手数料収入は決済手数料とキャッシュマネジメント手数料の底堅い伸び（前年同期比+6.5%）に加え、金融貯蓄商品の拡大継続にも支えられ、持続的な伸びを達成しました。オフバランス貯蓄商品も大幅に伸び（2020年9月末比+10.3%）、プライベート・バンキングへの資金純流入も6億ユーロと好調でした。

営業収益¹は、当四半期は15億7,000万ユーロ、前年同期比5.0%増でした。純利息収入¹は、貸出の増加が寄与し、専門的金融業務を手掛ける子会社の好調もあり、低金利環境によるマイナス影響を相殺し、0.5%増でした。手数料収入¹も堅調で、2020年度同期比10.8%増加し、2019年度同期比で急増しています。

営業費用¹は、推進中のコスト最適化策が奏功し、当四半期は11億2,900万ユーロと前年同期比0.4%増に留まりました。ジョーズ効果は+4.6ポイントと極めて高水準でした。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に4億4,100万ユーロに達し、前年同期比18.9%増でした。

リスク費用¹は当四半期は1億1,500万ユーロ（前年同期比2,100万ユーロ削減）、顧客向け融資残高の21bp相当と低位でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益²は当四半期に3億4,300万ユーロとなり、前年同期比68.8%の大幅増益でした（当四半期の営業外・非経常的項目の好影響を含む）。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、FRBの営業収益¹は46億3,800万ユーロとなり、前年同期比4.7%増でした。純利息収入¹は、専門的金融業務を手掛ける子会社の底堅い寄与に加え、貸出の増加もあり、低金利環境によるマイナス影響を一部相殺し、前年同期比1.8%増でした。手数料収入¹は金融手数料の急増や銀行手数料の底堅い伸びにより前年同期比8.3%の増収でした。営業費用¹は、推進中のコスト最適化策が奏功し、33億7,300万ユーロと前年同期比0.3%増に留まりました。ジョーズ効果は高水準でした（+4.5ポイント）。これらを受けて、営業総利益¹は12億6,400万ユーロに上り、前年同期比18.9%の増益です。リスク費用¹は3億4,200万ユーロ（前年同期は3億2,700万ユーロ）、顧客向け融資残高の21bp相当と低位でした。以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益³は当第3四半期累計期間に8億7,600万ユーロとなり、前年同期比37.6%の増益でした（当四半期の営業外・非経常的項目の好影響を含む）。

¹ フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² PEL/CELの影響を除く：2021年度第3四半期は+300万ユーロ；2020年度第3四半期は+100万ユーロ

³ PEL/CELの影響を除く：2021年度第3四半期累計期間は+2,400万ユーロ；2020年度第3四半期累計期間は+300万ユーロ

**BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

BNL bcの事業モメンタムは良好で、顧客セグメント全てで市場シェアを伸ばし続けました。融資残高は前年同期比0.8%減ですが、不良債権を除くと同1.4%増でした。預金残高は前年同期比9.6%増で、顧客セグメント全てで伸びています（前四半期比では横ばい）。オフバランス貯蓄商品は2020年9月末比13.2%増で、主にミューチュアルファンド資産の力強い伸び（2020年9月末比+22.9%）、生命保険保有契約高の継続的増加（2020年9月末比+6.8%）に牽引されました。プライベート・バンキングへの資金純流入も5億ユーロ近傍と堅調でした。

営業収益¹は当四半期は6億6,700万ユーロ、前年同期比0.4%減でした。純利息収入¹は、低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果では補えず、7.2%減でした。手数料収入¹は金融手数料がオフバランス貯蓄商品・取引高の伸びにより力強く増加したことが寄与し、前年同期比10.6%増でした。

営業費用¹は当四半期は4億4,900万ユーロ、前年同期比5.4%増でした。推進中の事業適応策（イタリアの年金改革「クオータ100」を活用した早期退職制度を含む）は奏功しましたが、主にIFRIC 21「賦課金」（前年同期比で増加）が響きました。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期に2億1,800万ユーロとなり、前年同期比10.6%減でした。

リスク費用¹は、当四半期は1億3,000万ユーロ、前年同期比900万ユーロ増でした。費用増は対象を絞った繰入率の引き上げに伴うもので、新たに少数の債務不履行がありました。BNL bcのリスク費用¹は顧客向け融資残高の67bp相当と低位です。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に8,000万ユーロとなり、前年同期比30.2%減でした。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、BNL bcの営業収益¹は20億1,200万ユーロ、前年同期比1.7%の増収でした。純利息収入¹は低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果では補えず2.9%減でした。手数料収入¹は、金融手数料が取引高・金融貯蓄商品の伸びに伴って増加したことが寄与し、8.9%の高い伸びでした。営業費用¹は13億4,200万ユーロ、前年同期比2.3%増でした。事業活動の回復支援とIFRIC 21「賦課金」（前年同期比で増加）が費用増につながりました。これらを受けて、営業総利益¹は6億6,900万ユーロとなり、前年同期比0.7%増益でした。リスク費用¹は3億4,500万ユーロ（前年同期比1,900万ユーロ削減）で、顧客向け融資残高の59bp相当と低水準でした。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当第3四半期累計期間に2億9,800万ユーロとなり、前年同期比9.1%の増益でした。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む



ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

BRBの業績は大きく向上し、事業モメンタムは好調でした。融資残高は前年同期比3.4%増¹、顧客セグメント全てで増加しました。預金残高は前年同期比5.9%増で、顧客セグメント全てで増加しています（ただし、法人預金は前四半期比で減少傾向を示しました）。手数料収入のモメンタムも堅調でした。オフバランス貯蓄商品の伸びは続き（2020年9月末比+13.6%）、特にミューチュアルファンドへの資金純流入が良好でした。決済業務も増え、特にカード決済数が伸びています（前年同期比+7.8%）。

デジタルツールの利用は加速し、モバイルアプリへの月次接続回数は5,600万回以上²に上りました（前年同期比+38.3%）。

営業収益³は当四半期は9億3,300万ユーロ、前年同期比9.6%増でした。純利息収入²は、専門的金融業務を手掛ける子会社からの寄与が大幅に増加したほか、融資の伸びによるプラス効果も加わり、低金利環境によるマイナス影響を相殺し、前年同期比6.2%増でした。当四半期は非経常的項目の好影響も加わりました。手数料収入²は金融手数料や銀行手数料の高い伸びにより前年同期比18.3%の大幅増収でした。

営業費用²は、コスト節減策に加え、支店網最適化策の継続も奏功し、当四半期は5億1,100万ユーロと前年同期比2.2%減でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+11.8ポイント）。

これらを受けて、営業総利益²は当四半期に4億2,200万ユーロとなり、前年同期比28.4%の大幅増でした。

リスク費用²は、当四半期は3,600万ユーロと前年同期（2,900万ユーロ）比で700万ユーロ増加しましたが、顧客向け融資残高の12bp相当と低位でした。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRBの税引前利益は当四半期に3億7,900万ユーロとなり、前年同期比29.4%増の力強い増益を果たしました。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、BRBの営業収益²は26億5,500万ユーロと前年同期比3.3%増でした。純利息収入²は、専門的金融業務を手掛ける子会社からの高い寄与や融資の伸びによるプラス効果はあったものの低金利環境のマイナス影響を補い切れず、1.0%減でした。なお、当四半期は非経常的項目の好影響も生じました。手数料収入²は、経済活動の回復に伴い、金融手数料と銀行手数料が大きく伸び、14.0%の大幅増でした。営業費用²は、コスト節減策に加え、支店網最適化策の継続も奏功し、18億3,400万ユーロと前年同期比1.0%減でした。ジョーズ効果は良好でした。リスク費用²は1億2,700万ユーロで、前年同期から3,500万ユーロ削減し、顧客向け融資残高の14bp相当と低位でした。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRBの税引前利益は当第3四半期累計期間に6億6,100万ユーロとなり、前年同期比24.3%増の堅調な伸びを達成しました。

¹ ローンポートフォリオの内部振替の影響を除くと+2.5%

² 第3四半期の平均値。範囲：個人顧客、法人顧客、プライベート・バンキング顧客（BNPパリバフォルティスとHello Bank！）

³ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む



その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務はいずれも事業活動を力強く拡大し、高い業績の伸びを達成しました。アルバルのファイナンスフリートの契約台数は大きく伸び（前年同期比+6.5%¹）、中古車価格は上昇が続きました。リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は前年同期比5.1%増え²、期初来の組成水準は2019年度を上回っています。個人投資家部門では、金融市場の堅調な展開を追い風に売買注文数が増え、運用資産の大幅増を達成しました（2020年9月末比+39.6%）。Nickelはフランスで躍進を続け、口座開設数は230万に迫り³、スペインでも口座開設が増加しています。この実績が認められ、NickelはFinance Innovation⁴に「Neo-Bank of the Year」と評されています。ルクセンブルク国内リテールバンキングでは融資残高が前年同期比7.2%増加しました。主に住宅ローンの組成が高水準だったことによるもので、利鞘も改善しています。

これら5つの専門的金融業務部門合計の営業収益⁵は当四半期に9億4,200万ユーロに上り、前年同期比10.9%増でした。特にアルバル、リーシング・ソリューションズ、Nickelが力強く貢献しました。個人投資家部門とルクセンブルク国内リテールバンキングの営業収益は横ばいでした。

営業費用⁵は、事業活動の拡大に伴って嵩み、5億600万ユーロでした（前年同期比7.7%増）。ジョーズ効果は高水準でした（+3.2ポイント）。

リスク費用⁵は当四半期は6,200万ユーロでした（前年同期は6,600万ユーロ）。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら5つの専門的金融業務部門の税引前利益は当四半期に3億7,300万ユーロに達し、前年同期比19.8%の大幅増でした。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、5つの専門的金融業務部門の営業収益⁵は合計28億4,000万ユーロに上り、前年同期比12.5%の増収でした。アルバルの力強い伸びに加え、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickelも好調でしたが、ルクセンブルク国内リテールバンキングの手数料収入増は低金利環境のマイナス影響で一部相殺されました。営業費用⁵は15億4,400万ユーロと事業活動の伸びに伴って嵩み前年同期比8.0%増でしたが、ジョーズ効果は高水準でした（+4.5ポイント）。リスク費用⁵は1億2,900万ユーロで、前年同期（1億4,400万ユーロ）から削減しています。以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら5つの専門的金融業務部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に11億5,800万ユーロとなり、前年同期比23.4%の大幅増益を果たしました。

*

* *

¹ 平均フリート台数（千台）

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 設定来

⁴ フランス政府が立ち上げた競争力に関するタスクフォースで、革新的プロジェクトの育成を支援・促進する。注：Nickelは銀行のステータスを有していない。

⁵ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む



国際金融サービス部門

国際金融サービス部門の業績は全般的に良好に推移しました。パーソナル・ファイナンスは、セールス/マーケティング活動が好成果につながり、2021年の公衆衛生措置の段階的解除に伴ってローン組成が増加しています。国際リテールバンキング業務¹では事業活動が堅調さを維持しました。資金の呼び込みを基盤とする事業活動も好調で、資金純流入が続き（2021年1-9月に299億ユーロ）、運用資産残高は2020年9月末比で9.8%増加しています。保険部門の事業活動も堅調で、不動産管理部門は回復を続けています。

営業収益は当四半期は38億2,300万ユーロで、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比3.0%減、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同1.0%減でした。資金の呼び込みを基盤とする事業の伸びが牽引しましたが、保険部門からの寄与が低下しました。また、国際リテールバンキング業務とパーソナル・ファイナンスも減収でした。

営業費用は事業開発や目標を絞った取り組みに伴って膨らみ、当四半期は24億6,600万ユーロでした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めた場合は前年同期比3.5%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた場合は同5.9%増でした。

これらを受けて、営業総利益は当四半期は13億5,700万ユーロ、前年同期比13.1%減でした。

リスク費用は当四半期は2億9,900万ユーロで、前年同期比2億9,300万ユーロの大幅削減となりました。主に正常債権（ステージ1と2）の引当金取崩がほぼなかったことによるものです。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当四半期に12億200万ユーロに上りました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比12.6%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同13.3%増でした。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、国際金融サービス部門の営業収益は117億9,900万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比1.6%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると-1.9%）。営業収益は資金の呼び込みを基盤とする事業の力強さやバンクウエストの好調な伸びに牽引されましたが、パーソナル・ファイナンスが公衆衛生危機関連で減収だったことや欧州・地中海沿岸諸国部門の不振で相殺されました。営業費用は事業開発に伴って75億3,100万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比3.3%増ですが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると同0.4%減でした。これらを受けて、営業総利益は42億6,800万ユーロ、前年同期比4.3%減でした。リスク費用は10億7,400万ユーロ、前年同期比で10億2,300万ユーロの大幅削減となりました。以上から、国際金融サービス部門の当第3四半期累計期間の税引前利益は35億9,800万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含めると前年同期比35.1%増、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと同36.5%増の大幅増益でした。当第3四半期累計期間には、一時項目として、BNPパリバ・アセットマネジメントの第1四半期の持分売却による譲渡益9,600万ユーロが含まれています。

¹ 欧州・地中海沿岸諸国部門とバンクウエスト



パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスの業績は力強く上向きました。事業活動は好調です。ローン組成は2021年の公衆衛生措置の段階的解除に伴って当第3四半期累計期間に増加しています（前年同期比+11.8%）。融資残高は前年同期比0.5%増でした。

業務のデジタル化や自動化が奏功し、事業効率やユーザーエクスペリエンスが向上を続けています。この結果、融資判断の約86%がデジタルチャネルを通じて完全自動化され、また、100万以上の業務がロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）を通じて自動化に至りました（2020年9月末比21%増）。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は当四半期は12億7,100万ユーロ、前年同期比5.4%減でした。主に非経常的項目が響きました。この要因を除くと、高水準の事業活動により減収は小幅です。

営業費用は当四半期は6億4,400万ユーロ、前年同期比0.5%増でした。事業活動の伸びに伴って増加しましたが、事業効率の改善で抑制しています。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に6億2,700万ユーロとなり、前年同期比10.8%減でした。

リスク費用は当四半期は3億300万ユーロ（前年同期から8,000万ユーロ削減）、顧客向け融資残高の130bp相当でした。この低水準は、効果的な延滞債権管理、債権回収の高実績、現行リスクの低減を反映しています。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に3億7,600万ユーロとなり、前年同期比19.1%の大幅増でした。リスク費用の削減が寄与しました。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、パーソナル・ファイナンスの営業収益は39億2,200万ユーロ、前年同期比4.8%減でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-4.3%）。減収の主因は、ローン組成の緩やかな回復にもかかわらず取引高が全体的に減少したこと、および、第3四半期に非経常的項目によるマイナス影響が生じたことです。営業費用は事業活動の回復支援や投資の継続に伴って21億700万ユーロとなり、前年同期比1.8%増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%）。これらを受けて、営業総利益は18億1,500万ユーロ、前年同期比11.5%減でした。リスク費用は9億6,800万ユーロ、前年同期比4億4,700万ユーロの削減でした。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、リスク費用の大幅削減が寄与し、当第3四半期累計期間に9億500万ユーロとなり、前年同期比41.6%の大幅増益でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+41.6%）。



欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門の事業モメンタムは良好でした。融資残高は前年同期比6.2%増¹で、特にポーランドとトルコを筆頭に顧客セグメント全てで融資の伸びが加速しました。ローン組成は2020年8月の底打ち後、各国とも高水準を維持しています²（為替レート変動による影響を除くと前年同期比+33.9%）。預金残高は前年同期比6.0%増¹、いずれの地域でも増加しています。デジタル顧客は前年同期比16%増加し、現在410万人に上っています。

欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益³は当四半期は5億1,100万ユーロ、前年同期比1.8%増¹でした。一部の国では厳しい状況でしたが、取引高と手数料収入の増加が増収につながりました。手数料収入は、公衆衛生危機と一部諸国の手数料上限の影響に見舞われた2020年度第2四半期の底打ち後は回復しており、為替レート変動による影響を除くと前年同期比4.2%増でした。

営業費用³は、高水準の賃金ドリフトや目標を絞った取り組みにより当四半期は3億8,300万ユーロ、前年同期比4.5%増¹でした。

リスク費用³は当四半期は1,500万ユーロ（前年同期比9,700万ユーロ削減）、顧客向け融資残高の17bp相当でした。主に正常債権（ステージ1と2）の引当金取崩がほぼなかったことによるものです。

以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に1億8,200万ユーロに上り、前年同期から倍増¹しました。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、欧州・地中海沿岸諸国部門の営業収益³は14億9,100万ユーロ、前年同期比7.2%減¹でした。手数料収入と取引高は増加しましたが、純利息収入の減少（特にトルコとポーランド）が響きました。営業費用³は12億900万ユーロ、前年同期比3.9%増¹でした。高水準の賃金ドリフトや目標を絞った取り組みにもかかわらず、費用増は抑制されました。リスク費用³は1億1,200万ユーロで、前年同期の3億4,200万ユーロから削減しています。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に3億200万ユーロとなり、前年同期比10.6%の増益¹でした。

バンクウエスト

バンクウエストの事業活動は堅調を維持しました。事業の好調な推移に伴ってローン組成⁴が急増し（前年同期比+21%¹）、個人向けローン組成が増えました（同+16%¹）。ただし融資残高は8.6%減¹、2020年の経済対策や事業休止の影響を被りました。預金残高は7.7%増¹、顧客預金⁵が大幅に伸びています（+6.8%¹）。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は2021年9月末時点で184億ドルと記録的な高水準に達し、2020年9月末比で16%増加⁶しています。米国子会社Bank of the Westのサービス品質は市場調査会社JD Powerが2021年4～6月に行ったサーベイで認められ、カリフォルニア州の顧客満足度ランキングで第1位を獲得しました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 範囲：トルコ、ポーランド、ウクライナ、モロッコの個人・法人向け貸出

³ トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ 範囲：個人向けローンの組成、中小企業・法人顧客向けローンの組成とフロー（米国政府の中小企業支援策「バイチェック・プロテクション・プログラム」参画分を除く）

⁵ 財務活動に関わる預金を除く

⁶ 連結範囲の変更による影響を除く



バンクウエストの営業収益¹は当四半期は5億8,800万ユーロ、前年同期比5.3%減²でした。減収の要因は前年同期に生じた非経常的項目のプラス寄与で、この要因を除くと前年同期比2%以上の増収²です。純利息収入の増加、利鞘の改善、融資の増加、経済活動の回復に伴う取引手数料の増加が寄与しました。

営業費用¹は経済活動の正常化や投資の継続に伴って嵩み、当四半期は4億2,500万ユーロ、前年同期比6.5%増²でした。

これらを受けて、営業総利益¹は当四半期は1億6,300万ユーロ、前年同期比26.6%減²でした。

リスク費用¹は、当四半期に2,300万ユーロの戻入があり、正常債権（ステージ1と2）の引当金取崩もなく、前年同期比1億1,300万ユーロの大幅削減となり、顧客向け融資残高の-19bp相当でした。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に1億8,900万ユーロとなり、前年同期比46.7%増²を達成しました。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、バンクウエストの営業収益¹は18億100万ユーロ、前年同期比2.5%増²でした。手数料収入の増加、利鞘の改善、融資の増加が増収につながりました。営業費用¹は経済活動の正常化や投資の継続に伴って嵩み、12億3,800万ユーロと前年同期比1.3%増²でしたが、+1.2ポイントのジョーズ効果を生み出しました。これらを受けて、営業総利益¹は5億6,200万ユーロ、前年同期比5.5%の増益²でした。リスク費用¹は、2,100万ユーロの戻入もあり、前年同期（3億1,900万ユーロ）から大幅に削減しています。以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）に配分した後、バンクウエストの税引前利益は当第3四半期累計期間に5億7,900万ユーロとなり、前年同期の2.7倍²に上りました。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険部門、ウェルス・マネジメント部門、アセット・マネジメント部門の運用資産残高³は2021年9月末現在で総額1兆2,180億ユーロに上り、2020年12月末比4.5%増でした。主にパフォーマンス面の影響が良好で（+400億ユーロ）、堅調な市況や高い運用実績が押し上げ要因となりました。また、為替面の影響も有利に働きました（+118億ユーロ）。一方、連結範囲変更による影響はネガティブで（-287億ユーロ）、BNPパリバ・アセットマネジメントが保有していた持分を2021年度第1四半期に売却したことが主に響きました。資金純流入については3部門とも高水準の達成に貢献し（当第3四半期累計期間の総額は299億ユーロ）、ウェルス・マネジメント部門では欧州（特にドイツ、フランス、イタリア）とアジアで好調な資金純流入が見られ、アセット・マネジメント部門では特にテーマ型ファンドを中心に中長期ファンドへの資金純流入が力強く（短期ファンドから資金が純流出し一部相殺）、保険部門では特にユニットリンク保険（とりわけフランス、イタリア、ルクセンブルク）に順調な資金純流入が見られました。

運用資産残高³の2021年9月末現在の内訳は、アセット・マネジメント部門が5,310億ユーロ（Real Estate Investment Managementの290億ユーロを含む）、ウェルス・マネジメント部門が4,110億ユーロ、保険部門は2,770億ユーロでした。

保険部門の事業モメンタムは堅調でした。貯蓄型保険はフランス国内外で高実績を維持し、当第3四半期累計期間の資金流入は急増し（前年同期比+47.5%）、ユニットリンク保険が資金純流入の大半を占めました。保障保険の販売はフランスで増え、特に人身傷害補償保険や損害保険が好調でした（Cardif IARD）。国際的にも事業活動は上向き、特にアジアと南米で順調でした。

¹ 米国プライベート・バンキングの100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 分配金を含む



保険部門の営業収益は、当四半期は6億1,300万ユーロ、前年同期比12.0%減でした。主に当四半期の有価証券譲渡益が前年同期比で減少したこと等により運用成績が悪化し、貯蓄型保険の持続的な伸びや保障保険の好調は相殺されました。営業費用は事業活動の回復や目標を絞ったプロジェクトに伴って膨らみ、当四半期は3億7,600万ユーロ、前年同期比8.5%増でした。税引前利益は2億3,100万ユーロ（関連会社が受けた保険金請求のマイナス影響を含む）、前年同期比40.0%減でした。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の事業活動は全体的に好調でした。ウェルス・マネジメント部門では、順調な資金純流入が欧州（特にドイツ）で見られ、事業活動が拡大し、運用資産残高や取引高の増加に伴って金融手数料収入が伸びました。アセット・マネジメント部門でも事業活動が堅調で、主に中長期ファンド（欧州）と短期ファンドで高水準の資金純流入が見られました（前年同期比+75億ユーロ）。資金純流入は責任投資/サステナブル投資¹の推進によっても押し上げられました。アセット・マネジメント部門はオランダの資産運用会社Dynamic Credit Groupを買収し²、プライベート・アセット運用の拡大を続けています。不動産管理部門の回復は続き、アドバイザー業務（特にフランス、ドイツ、英国）の復調は顕著です。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は、当四半期は8億5,900万ユーロ、前年同期比17.0%増で、全部門が増収でした。ウェルス・マネジメント部門では、手数料収入や預貸利鞘が増収要因となり、アセット・マネジメント部門では力強い資金純流入や市況・運用状況が増収に貢献し、不動産管理部門の営業収益は特にアドバイザー業務で急増しています。営業費用は全部門で事業活動の伸びに伴って膨らみ、当四半期は6億5,100万ユーロ、前年同期比8.9%増でした。ジョーズ効果は全部門とも良好でした（全体で+8.2ポイント）。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国におけるプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当四半期に2億2,400万ユーロとなり、前年同期比53.9%の大幅増でした。全部門の力強い伸びが押し上げ要因となりました。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、保険部門の営業収益は21億7,100万ユーロ、前年同期比3.2%増でした。増収要因として貯蓄型保険の好調、保障保険の回復が挙げられますが、運用成績の悪化と保険金請求のマイナス影響持続で一部相殺されました。営業費用は事業活動の回復や目標を絞ったプロジェクトに伴って膨らみ、11億2,600万ユーロ、前年同期比4.4%増でした。以上から、保険部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に10億9,700万ユーロとなり、前年同期比2.8%減でした。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の当第3四半期累計期間の営業収益は24億7,300万ユーロ、前年同期比14.7%の大幅増でした。この結果は、アセット・マネジメント部門の好調（高水準の資金純流入や市況・運用状況が貢献）、不動産管理部門（主にアドバイザー業務）の前年同期比の力強い回復（前年同期は低水準）、および、ウェルス・マネジメント部門で手数料収入や預貸利鞘が低金利環境のマイナス影響を十分に相殺したことを反映しています。営業費用は18億8,700万ユーロ、前年同期比2.5%増で、ジョーズ効果は全部門とも良好でした（全体で+12.2ポイント）。以上から、国内市場部門、トルコ、ポーランド、および米国におけるプライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメント部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に7億1,500万ユーロとなり、前年同期の倍の水準となる増益でした。この中にはBNPパリバ・アセットマネジメントが2021年度第1四半期に持分売却で得た譲渡益の影響も含まれています。

*
* *

1 サステナブルファイナンス開示規則（SFDR）の第8条と第9条で定義—第8条は環境または社会的な特性を促進する商品、第9条はサステナブルな投資目的を持つ商品。

2 必要な承認の取得を条件とする



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は事業活動の堅実な伸びを3部門全てで示し、高業績を達成しました。

ファイナンス業務は前年同期比でセグメント全て（株式発行、債券発行、シンジケートローン¹）で事業活動を拡大させました。市場関連では、エクイティデリバティブ業務とプライムサービス業務の顧客取引が堅調でした。事業活動は為替・クレジット市場では比較的精彩に欠け、特に金利市場では冴えませんでした。証券管理部門では預かり資産が増加し、取引高は高水準を維持しました。

CIB部門は成長戦略の推進を続行し、2021年7月1日にExane買収を完了したほか、ドイツ銀行から譲渡されたプライムブローカレッジ事業の顧客移管を続けました。

CIB部門はその業務展開の多様さを武器に高業績を達成しました。当四半期の営業収益は高水準だった2020年度第3四半期を6.4%上回り²、2019年度第3四半期比では24.9%の大幅増収でした。

コーポレートバンキング部門の当四半期の営業収益は、2020年度第3四半期比では14.7%増、2019年度第3四半期比では23.3%増の大幅増収でした。欧州・中東・アフリカ（EMEA）と米州を中心に全地域が貢献したほか、キャピタルマーケット・プラットフォームの力強い寄与も続き（前年同期比+21%）、トレードファイナンスとキャッシュマネジメントも営業収益を押し上げました。取引高は高い伸びを達成し、クレジット・債券・株式市場でお客様のために世界中で調達した資金額は前年同期比16%増加¹しました。融資残高は1,560億ユーロと2020年度第3四半期比1.9%減、2021年度第2四半期比1.2%増で、2020年度第3四半期の借入急増後の急速な正常化以降、着実に増加していることを裏付けています。預金残高は1,840億ユーロで、2020年度第3四半期に公衆衛生危機のためピークに達したのち徐々に正常化しつつあり、2020年度第3四半期比4.2%減、2021年度第2四半期比0.6%減でした。株式市場に関連した案件の取引高は当第3四半期累計期間にEMEA地域で急増し³（前年同期比+20%）、市場シェアも当四半期に6.6%へ向上しています（同1ポイント上昇）。

グローバル・マーケット部門の営業収益は、その業務展開の多様さを強みに当四半期は17億3,100万ユーロとなり、高水準だった2020年度第3四半期比でも1.2%増加し、2019年度第3四半期比では33.3%の大幅増と好調でした。主に顧客取引が株式市場で相次いだことが増収に寄与し、デリバティブ取引は仕組み商品を中心に伸びを続け、プライムブローカレッジ取引も拡大しました。一方、金利・為替市場の顧客取引は減少しましたが、コモディティ市場では堅調でした。グローバルボンドの取引高は前年同期比7%増⁴でした。市場リスクの尺度であるバリュエーション・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は3,100万ユーロに低下しました。VaRは2020年の公衆衛生危機が招いたボラティリティ上昇局面以後は低下し続けており、特に当四半期は金利市場で低下しています。

FICC⁵業務の営業収益は特に金利市場で弱く、当四半期は8億9,600万ユーロに留まり、高水準だった前年同期比で28.0%大幅に減少しました。一方、株式・プライムサービス業務ではデリバティブ取引が力強く伸び、プライムブローカレッジ取引の順調でオーガニックな伸びも見られ、Exane BNP Paribasの好調も貢献しました（9,100万ユーロ、前年同期比43.0%増）。これらを受け、株式・プライムサービス業務の営業収益は当四半期に8億3,500万ユーロに上り、前年同期比79.3%の大幅増収を果たしました。

¹ 出所：Dealogic社、2021年9月末時点、ブックランナーランキング（取引高、配賦額）

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.1%

³ 出所：Dealogic社、2021年9月末時点、ブックランナーランキング（取引高）、EMEA：欧州、中東、アフリカ

⁴ 出所：Dealogic社、2021年9月末時点、ブックランナーランキング（取引高、配賦額）

⁵ Fixed Income, Currencies, and Commodities（債券、通貨、コモディティ）



証券管理部門の営業収益は当四半期は前年同期比**5.8%**増でした。預かり資産平均残高の増加（前年同期比**+19.3%**）、堅調な市場動向、新規顧客のオンボーディング、取引高の増加（前年同期比**+14.1%**）が増収に寄与しました。証券管理部門は中国で適格海外機関投資家にカスタディサービスを提供するライセンスを取得する等により事業の拡大を続けています。

CIB部門の営業費用は、当四半期は事業開発支援のため**22億4,300万ユーロ**に上り、前年同期比**5.9%**増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+1.5%**）。ジョーズ効果は高水準でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+2.6ポイント**）。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当四半期に**13億4,600万ユーロ**に上り、前年同期比**7.2%**増でした。

CIB部門のリスク費用は当四半期は**2,400万ユーロ**（前年同期比**2億8,600万ユーロ**削減）と低位でした。コーポレートバンキング部門のリスク費用は**2,400万ユーロ**（顧客向け融資残高の**6bp**相当）でした。これは正常債権（ステージ1と2）の当四半期の引当金取崩がほぼなかったことによるもので、対象を絞った繰入率の引き上げや少数の債務不履行により一部相殺されました。グローバル・マーケット部門のリスク費用は**200万ユーロ**でした。

以上から、CIB部門の税引前利益は当四半期に**13億3,100万ユーロ**に達し、**2020年度第3四半期比で39.3%**増、**2019年度第3四半期比で59.6%**増の大幅増益でした。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CIB部門の営業収益は**109億7,200万ユーロ**、**2020年度同期比5.0%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+7.1%**）、**2019年度同期比22.2%**の大幅増でした。営業収益は力強い事業活動、事業の多角化、プラットフォームの開発で押し上げられ、3部門全てで増収を果たし、コーポレートバンキング部門は**9.2%**増、グローバル・マーケット部門は**3.0%**増、証券管理部門は**2.8%**増でした。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、当第3四半期累計期間は**37億6,300万ユーロ**、前年同期比**9.2%**増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+11.5%**）。全地域（特にEMEA地域と米州）が増収となり¹、EMEA地域のキャピタルマーケット・プラットフォームの寄与が高まり（高水準だった前年同期に比べても好調）、トランザクションバンキング業務（キャッシュマネジメントやトレードファイナンス）の回復継続が増収につながりました。営業収益は**2019年度同期比では21.3%**増でした。

グローバル・マーケット部門の営業収益は当第3四半期累計期間は**54億8,100万ユーロ**、**2020年度同期比3.0%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+4.5%**）、**2019年度同期比29.6%**増でした。FICC業務の営業収益は**31億9,200万ユーロ**で、特に債券発行とコモディティデリバティブが好調でした。極めて高水準だった**2020年度同期比では減収**でしたが、**2019年度同期比では16.4%**の大幅増収でした。株式・プライムサービス業務の営業収益は当第3四半期累計期間は**22億8,900万ユーロ**に達しました。記録的な事業活動、デリバティブが前年同期に低水準だったこと²、**Exane BNP Paribas**の業績が当四半期から寄与し始めたことが高い伸びにつながりました。

証券管理部門の営業収益は当第3四半期累計期間は**17億2,800万ユーロ**、前年同期比**2.8%**増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+6.3%**）。預かり資産の残高増（特に最近獲得した大型マンドートのオンボーディング）や取引高の増加が寄与しました。

CIB部門の営業費用は当第3四半期累計期間は**70億5,100万ユーロ**、前年同期比**4.8%**増でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+5.2%**）。事業活動の力強い伸びに伴う費用増やIFRIC 21に基づく「賦課金」³の増加が押し上げ要因となりましたが、コスト節減策により、良好なジョーズ効果を生み出しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+2ポイント**）。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 2020年度第1四半期の厳しい市場ショックの余波および欧州当局が発表した配当支払抑制勧告の影響（2020年度第1四半期に**-1億8,400万ユーロ**）

³ IFRICに基づく「賦課金」：当第3四半期累計期間に**6億2,500万ユーロ**（2020年度同期比**+9,300万ユーロ**）



これらを受けて、CIB部門の営業総利益は当第3四半期累計期間に39億2,100万ユーロに上り、前年同期比5.4%増でした。

CIB部門のリスク費用は当第3四半期累計期間は2億5,300万ユーロと低水準で、前年同期比7億3,900万ユーロの削減でした。

以上から、CIB部門の税引前利益は当第3四半期累計期間に37億1,800万ユーロに達し、前年同期比35.5%の増益を果たしました。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は当四半期は1,100万ユーロ、前年同期は-1億6,500万ユーロでした。前年同期の営業収益がマイナスに陥った要因は、非経常的項目のマイナス影響やデリバティブに含まれる信用リスク再評価（-1,600万ユーロ。前年同期は-7,400万ユーロ）です。

営業費用は、当四半期は1億8,300万ユーロでした（前年同期は1億6,500万ユーロ）。当四半期の営業費用には、一時項目として、事業再編費用¹と事業適応費用²（2,000万ユーロ。前年同期は4,400万ユーロ）、および、IT強化費用（4,200万ユーロ。前年同期は4,000万ユーロ）が含まれています。なお、前年同期には、一時項目として、公衆衛生危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用（2,100万ユーロ）も含まれていました。

リスク費用は、当四半期は4,000万ユーロでした。前年同期は引当金戻入益300万ユーロを計上していました。

他の営業外項目は当四半期に6,100万ユーロの損失となりました（前年同期は3,600万ユーロの利益）。当四半期の営業外項目には、一時項目として、Allfunds株売却³による譲渡益1億4,400万ユーロが含まれていますが、のれんの減損損失1億4,900万ユーロで相殺されました。前年同期の営業外項目には、一時項目として、建物売却による譲渡益（4,100万ユーロ）が含まれています。

以上から、コーポレート・センターの当四半期の税引前損益は2億6,000万ユーロの損失でした（前年同期は2億7,500万ユーロの損失）。

2021年度第3四半期累計期間（1-9月）において、コーポレート・センターの営業収益は4億8,800万ユーロで（前年同期は-1億1,700万ユーロ）、特にプリンシパル・インベストメンツによる力強い寄与を反映し、公衆衛生危機の影響を受けた前年同期のマイナス寄与からの大幅回復を示しました。また、2021年度第1四半期にインドのSBI Life株4.99%の売却により譲渡益が生じた影響も反映しています。営業費用は7億3,600万ユーロでした（前年同期は6億700万ユーロ）。この中には、一時項目として、事業再編費用⁴と事業適応費用⁵が1億300万ユーロ、および、IT強化費用が1億700万ユーロ含まれています（前年同期の営業費用には、一時項目として、公衆衛生危機関連の寄付とスタッフ安全対策費用が1億700万ユーロ、事業再編費用⁴と事業適応費用⁵が1億2,000万ユーロ、IT強化費用が1億1,900万ユーロ計上されていました）。リスク費用は1億5,900万ユーロでした（前年同期は4,300万ユーロ）。他の営業外項目は当第3四半期累計期間は5億2,900万ユーロの利益でした

¹ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

² 特にバンクウェストとCIB部門に関連

³ Allfunds持分1.97%の売却（残部持分は13.81%）

⁴ 特に特定の事業（とりわけCIB部門）の中止・再編に関連

⁵ 特にバンクウェストとCIB部門に関連



(前年同期は5億1,900万ユーロの利益)。当第3四半期累計期間の営業外項目には、一時項目として、当四半期におけるAllfunds株売却¹による譲渡益4億4,400万ユーロ、建物売却による譲渡益3億200万ユーロ、のれんの減損損失1億4,900万ユーロが含まれています(前年同期には、一時項目として、建物売却による譲渡益5億600万ユーロが含まれていました)。以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当第3四半期累計期間に1億3,400万ユーロとなりました(前年同期は1億9,800万ユーロの損失)。

*
* *

財務構造

当グループの財務構造は盤石です。

普通株式等Tier1比率は2021年9月末現在13.0%²で、2021年6月末の水準から10bp上昇しました。この主因は、当四半期の純利益を剰余金に計上したこと(配当性向50%を考慮後、+20bp)、および、リスクアセットが増加したこと(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く、-10bp)です。

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。2021年10月29日に発表した自社株買いの影響を考慮後では、普通株式等Tier1比率は12.9%です。

レバレッジ比率³は2021年9月末現在3.9%でした。

即時利用可能な剰余資金は2021年9月末現在で4,780億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の剰余資金があることを意味しています。

*
* *

¹ Allfunds持分8.69%の売却(残部持分は13.81%)

² 資本要求指令4(CRD4); 国際財務報告基準(IFRS)第9号経過規定を含む

³ ECBの2021年6月18日の決定によって認定されたユーロ中央銀行制度(ユーロシステム)への預金関連の一時的免除を選択せず、規則(EU)2019/876に従って算定。



連結損益計算書

	3Q21	3Q20	3Q21 / 3Q20	2Q21	3Q21 / 2Q21	9M21	9M20	9M21 / 9M20
(単位: 百万ユーロ)								
グループ								
営業収益	11,398	10,885	+4.7%	11,776	-3.2%	35,003	33,448	+4.6%
営業費用および減価償却費	-7,412	-7,137	+3.8%	-7,172	+3.3%	-23,181	-22,632	+2.4%
営業総利益	3,986	3,748	+6.4%	4,604	-13.4%	11,822	10,816	+9.3%
リスク費用	-706	-1,245	-43.3%	-813	-13.2%	-2,415	-4,118	-41.4%
営業利益	3,280	2,503	+31.1%	3,791	-13.5%	9,407	6,698	+40.4%
持分法適用会社投資損益	131	130	+0.8%	101	+29.6%	356	355	+0.3%
その他の営業外項目	39	38	+2.6%	302	-87.1%	704	539	+30.6%
営業外項目	170	168	+1.2%	403	-57.8%	1,060	894	+18.6%
税引前利益	3,450	2,671	+29.2%	4,194	-17.7%	10,467	7,592	+37.9%
法人税	-836	-692	+20.8%	-1,193	-29.9%	-2,998	-1,849	+62.1%
少数株主帰属純利益	-111	-85	+30.6%	-90	+23.4%	-287	-268	+7.1%
株主帰属純利益	2,503	1,894	+32.2%	2,911	-14.0%	7,182	5,475	+31.2%
コストインカム率	65.0%	65.6%	-0.6 pt	60.9%	+4.1 pt	66.2%	67.7%	-1.5 pt

BNP パリバの 2021 年度第 3 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2021年度第3四半期—コア事業別業績

	国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	その他業務	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,976	3,823	3,588	11,387	11	11,398
対前年同期比	+6.4%	-3.0%	+6.4%	+3.0%	n.s.	+4.7%
対前四半期比	+0.6%	-3.2%	-3.4%	-2.0%	-93.2%	-3.2%
営業費用および減価償却費	-2,520	-2,466	-2,243	-7,229	-183	-7,412
対前年同期比	+1.9%	+3.5%	+5.9%	+3.7%	+10.8%	+3.8%
対前四半期比	+3.7%	-0.5%	+9.8%	+4.0%	-17.6%	+3.3%
営業総利益	1,456	1,357	1,346	4,158	-172	3,986
対前年同期比	+15.3%	-13.1%	+7.2%	+2.0%	-48.0%	+6.4%
対前四半期比	-4.3%	-7.7%	-19.5%	-10.8%	n.s.	-13.4%
リスク費用	-342	-299	-24	-666	-40	-706
対前年同期比	-1.2%	-49.4%	-92.2%	-46.7%	n.s.	-43.3%
対前四半期比	+24.1%	-28.2%	-57.2%	-11.2%	-37.0%	-13.2%
営業利益	1,113	1,057	1,322	3,493	-212	3,280
対前年同期比	+21.5%	+9.2%	+39.8%	+23.4%	-35.2%	+31.1%
対前四半期比	-10.6%	+0.4%	-18.2%	-10.8%	+72.0%	-13.5%
持分法適用会社投資損益	5	105	9	118	13	131
その他の営業外項目	60	40	0	100	-61	39
税引前利益	1,179	1,202	1,331	3,711	-260	3,450
対前年同期比	+27.6%	+12.6%	+39.3%	+25.9%	-5.5%	+29.2%
対前四半期比	-5.5%	+4.1%	-18.7%	-8.1%	n.s.	-17.7%

	国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	その他業務	グループ 合計
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,976	3,823	3,588	11,387	11	11,398
前年同期	3,735	3,943	3,372	11,050	-165	10,885
前四半期	3,952	3,948	3,714	11,614	162	11,776
営業費用および減価償却費	-2,520	-2,466	-2,243	-7,229	-183	-7,412
前年同期	-2,473	-2,382	-2,117	-6,972	-165	-7,137
前四半期	-2,431	-2,478	-2,042	-6,951	-222	-7,172
営業総利益	1,456	1,357	1,346	4,158	-172	3,986
前年同期	1,262	1,561	1,255	4,078	-330	3,748
前四半期	1,522	1,470	1,672	4,663	-59	4,604
リスク費用	-342	-299	-24	-666	-40	-706
前年同期	-346	-592	-310	-1,248	3	-1,245
前四半期	-276	-417	-57	-749	-64	-813
営業利益	1,113	1,057	1,322	3,493	-212	3,280
前年同期	916	969	945	2,830	-327	2,503
前四半期	1,246	1,053	1,615	3,914	-123	3,791
持分法適用会社投資損益	5	105	9	118	13	131
前年同期	4	107	3	114	16	130
前四半期	-2	113	10	121	-20	101
その他の営業外項目	60	40	0	100	-61	39
前年同期	4	-9	7	2	36	38
前四半期	3	-12	12	4	298	302
税引前利益	1,179	1,202	1,331	3,711	-260	3,450
前年同期	924	1,067	955	2,947	-276	2,671
前四半期	1,247	1,154	1,637	4,039	155	4,194
法人税						-836
少数株主帰属純利益						-111
株主帰属純利益						2,503

**2021年度1-9月期 - コア事業別業績**

		国内市場部門	国際金融 サービス部門	ホールセール バンキング部門	事業部門合計	その他業務	グループ合計
<i>(単位：百万ユーロ)</i>							
営業収益		11,744	11,799	10,972	34,515	488	35,003
	対前年同期比	+5.9%	-1.9%	+5.0%	+2.8%	n.s.	+4.6%
営業費用および減価償却費		-7,863	-7,531	-7,051	-22,445	-736	-23,181
	対前年同期比	+1.7%	-0.4%	+4.8%	+1.9%	+21.1%	+2.4%
営業総利益		3,881	4,268	3,921	12,070	-248	11,822
	対前年同期比	+15.5%	-4.3%	+5.4%	+4.6%	-65.8%	+9.3%
リスク費用		-929	-1,074	-253	-2,256	-159	-2,415
	対前年同期比	-5.8%	-48.8%	-74.5%	-44.7%	n.s.	-41.4%
営業利益		2,952	3,194	3,668	9,814	-407	9,407
	対前年同期比	+24.3%	+35.1%	+34.5%	+31.5%	-46.9%	+40.4%
持分法適用会社投資損益		-1	318	27	344	12	356
その他の営業外項目		67	85	23	175	529	704
税引前利益		3,017	3,598	3,718	10,333	134	10,467
	対前年同期比	+26.6%	+35.1%	+35.5%	+32.7%	n.s.	+37.9%
法人税							-2,998
少数株主帰属純利益							-287
株主帰属純利益							7,182

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
グループ							
営業収益	11,398	11,776	11,829	10,827	10,885	11,675	10,888
営業費用および減価償却費	-7,412	-7,172	-8,597	-7,562	-7,137	-7,338	-8,157
営業総利益	3,986	4,604	3,232	3,265	3,748	4,337	2,731
リスク費用	-706	-813	-896	-1,599	-1,245	-1,447	-1,426
営業利益	3,280	3,791	2,336	1,666	2,503	2,890	1,305
持分法適用会社投資損益	131	101	124	68	130	130	95
その他の営業外項目	39	302	363	496	38	106	395
税引前利益	3,450	4,194	2,823	2,230	2,671	3,126	1,795
法人税	-836	-1,193	-969	-558	-692	-746	-411
少数株主帰属純利益	-111	-90	-86	-80	-85	-81	-102
株主帰属純利益	2,503	2,911	1,768	1,592	1,894	2,299	1,282
コストインカム率	65.0%	60.9%	72.7%	69.8%	65.6%	62.9%	74.9%



(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
リテールバンキング事業およびサービス事業 PEL/CELの影響を除く							
営業収益	7,795	7,881	7,843	7,753	7,677	7,615	7,823
営業費用および減価償却費	-4,986	-4,909	-5,499	-5,089	-4,855	-4,790	-5,650
営業総利益	2,809	2,972	2,344	2,664	2,822	2,825	2,172
リスク費用	-641	-693	-669	-1,137	-938	-1,095	-1,050
営業利益	2,168	2,280	1,675	1,527	1,883	1,730	1,122
持分法適用会社投資損益	110	111	96	56	111	116	74
その他の営業外項目	100	-8	61	66	-5	-2	12
税引前利益	2,377	2,382	1,832	1,649	1,990	1,845	1,208
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	54.6	54.6	54.9	55.3	55.6	55.8	55.8
(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
リテールバンキング事業およびサービス事業							
営業収益	7,798	7,900	7,844	7,753	7,678	7,630	7,810
営業費用および減価償却費	-4,986	-4,909	-5,499	-5,089	-4,855	-4,790	-5,650
営業総利益	2,812	2,992	2,345	2,664	2,823	2,840	2,159
リスク費用	-641	-693	-669	-1,137	-938	-1,095	-1,050
営業利益	2,171	2,299	1,676	1,527	1,885	1,745	1,109
持分法適用会社投資損益	110	111	96	56	111	116	74
その他の営業外項目	100	-8	61	66	-5	-2	12
税引前利益	2,380	2,402	1,833	1,649	1,991	1,859	1,195
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	54.6	54.6	54.9	55.3	55.6	55.8	55.8
(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国内市場部門 (フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む) ¹ PEL/CELの影響を除く							
営業収益	4,112	4,076	3,956	3,976	3,867	3,721	3,913
営業費用および減価償却費	-2,595	-2,502	-2,997	-2,610	-2,543	-2,446	-2,970
営業総利益	1,518	1,574	959	1,366	1,324	1,276	943
リスク費用	-343	-284	-315	-458	-353	-331	-313
営業利益	1,174	1,291	644	908	971	944	630
持分法適用会社投資損益	5	-2	-5	1	4	1	0
その他の営業外項目	60	3	4	45	4	1	1
税引前利益	1,239	1,292	643	953	978	946	630
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-64	-64	-53	-64	-56	-62	-56
国内市場部門税引前利益	1,176	1,228	590	890	922	884	574
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	25.6	25.7	25.8	26.2	26.3	26.1	26.0
(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国内市場部門 (フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,976	3,952	3,816	3,838	3,735	3,602	3,757
営業費用および減価償却費	-2,520	-2,431	-2,912	-2,534	-2,473	-2,376	-2,885
営業総利益	1,456	1,522	904	1,304	1,262	1,226	872
リスク費用	-342	-276	-311	-459	-346	-329	-311
営業利益	1,113	1,246	593	845	916	897	561
持分法適用会社投資損益	5	-2	-5	1	4	1	0
その他の営業外項目	60	3	3	44	4	1	0
税引前利益	1,179	1,247	591	890	924	899	561
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	25.6	25.7	25.8	26.2	26.3	26.1	26.0

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業 (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	1,574	1,607	1,481	1,516	1,498	1,423	1,511
うち受取利息純額	859	860	797	855	853	788	810
うち手数料	714	747	684	661	645	634	702
営業費用および減価償却費	-1,129	-1,075	-1,169	-1,126	-1,125	-1,074	-1,166
営業総利益	444	532	312	390	373	349	345
リスク費用	-115	-101	-125	-169	-137	-90	-101
営業利益	329	431	186	221	236	259	244
営業外項目	54	-2	1	40	-2	0	-1
税引前利益	383	429	187	261	235	259	244
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-36	-32	-30	-36	-30	-33	-35
フランス国内リテールバンキング税引前利益	346	397	157	225	205	226	209
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.7	10.8	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業 (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹ PEL/CELの影響を除く							
営業収益	1,570	1,587	1,480	1,516	1,496	1,408	1,524
うち受取利息純額	856	840	796	855	852	774	823
うち手数料	714	747	684	661	645	634	702
営業費用および減価償却費	-1,129	-1,075	-1,169	-1,126	-1,125	-1,074	-1,166
営業総利益	441	513	310	390	371	334	358
リスク費用	-115	-101	-125	-169	-137	-90	-101
営業利益	326	412	185	221	235	244	257
営業外項目	54	-2	1	40	-2	0	-1
税引前利益	380	410	186	261	233	245	257
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-36	-32	-30	-36	-30	-33	-35
フランス国内リテールバンキング税引前利益	343	377	156	225	203	212	222
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.7	10.8	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
フランス国内リテールバンキング事業 (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,502	1,534	1,410	1,446	1,430	1,354	1,437
営業費用および減価償却費	-1,097	-1,041	-1,133	-1,091	-1,093	-1,040	-1,129
営業総利益	406	493	278	355	337	314	308
リスク費用	-113	-94	-121	-170	-130	-88	-99
営業利益	293	399	156	185	207	226	209
営業外項目	54	-2	1	40	-2	0	-1
税引前利益	346	397	157	225	205	226	209
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.7	10.8	10.8	11.0	11.0	10.8	10.6

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランス国内リテールバンキング事業収益において計上されているが、住宅財形貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅財形貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。

(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
PEL-CELの影響	3	19	1	0	1	15	-13



(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
BNLバンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	667	669	676	694	669	649	659
営業費用および減価償却費	-449	-435	-459	-434	-426	-422	-465
営業総利益	218	235	217	260	244	227	194
リスク費用	-130	-105	-110	-161	-122	-122	-120
営業利益	88	130	107	99	122	105	74
営業外項目	0	0	0	0	0	-2	0
税引前利益	88	130	107	99	122	104	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-8	-10	-9	-9	-7	-9	-10
BNLバンカ・コメルシアーレ税引前利益	80	120	97	90	115	95	64
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.3	5.3	5.5	5.3	5.3	5.3	5.3
BNLバンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	645	647	654	672	649	629	637
営業費用および減価償却費	-435	-422	-446	-421	-413	-410	-453
営業総利益	210	225	207	251	236	218	184
リスク費用	-130	-104	-110	-161	-121	-122	-120
営業利益	80	120	97	90	115	96	64
営業外項目	0	0	0	0	0	-2	0
税引前利益	80	120	97	90	115	95	64
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.3	5.3	5.5	5.3	5.3	5.3	5.3
ベルギー国内リテールバンキング事業 (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	933	864	858	861	851	835	885
営業費用および減価償却費	-511	-488	-835	-556	-523	-499	-830
営業総利益	422	376	23	305	329	336	55
リスク費用	-36	-45	-47	-67	-29	-80	-54
営業利益	386	331	-24	238	300	256	0
持分法適用会社投資損益	5	2	-3	4	7	4	4
その他の営業外項目	6	4	3	6	4	2	1
税引前利益	397	337	-24	247	311	262	5
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-18	-20	-11	-17	-18	-19	-10
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	379	317	-35	230	293	243	-4
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.2	5.2	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7
ベルギー国内リテールバンキング事業 (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	892	821	815	820	811	794	842
営業費用および減価償却費	-487	-466	-802	-532	-501	-477	-797
営業総利益	405	354	13	288	310	317	45
リスク費用	-37	-44	-48	-68	-28	-79	-54
営業利益	368	311	-34	221	282	237	-9
持分法適用会社投資損益	5	2	-3	4	7	4	4
その他の営業外項目	6	4	3	6	4	2	1
税引前利益	379	317	-35	230	293	243	-4
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.2	5.2	5.2	5.4	5.5	5.6	5.7

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む） ¹							
営業収益	942	956	942	905	850	829	845
営業費用および減価償却費	-506	-505	-533	-494	-469	-451	-508
営業総利益	436	451	408	411	380	378	337
リスク費用	-62	-34	-33	-61	-66	-40	-38
営業利益	374	418	376	350	314	339	299
持分法適用会社投資損益	0	-2	-2	-3	-2	-3	-4
その他の営業外項目	0	0	0	-1	0	0	0
税引前利益	375	415	374	346	312	336	295
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-2	-1	-1	-1	-2
その他国内市場部門税引前利益	373	414	372	345	311	335	293
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む）							
営業収益	937	951	937	900	846	825	841
営業費用および減価償却費	-502	-501	-531	-491	-466	-448	-505
営業総利益	435	450	406	409	379	377	335
リスク費用	-62	-34	-33	-60	-66	-40	-38
営業利益	372	416	373	349	313	337	297
持分法適用会社投資損益	0	-2	-2	-3	-2	-3	-4
その他の営業外項目	0	0	0	-1	0	0	0
税引前利益	373	414	372	345	311	335	293
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.3	4.3	4.3	4.5	4.4	4.4	4.4

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
国際金融サービス部門							
営業収益	3,823	3,948	4,028	3,915	3,943	4,027	4,053
営業費用および減価償却費	-2,466	-2,478	-2,587	-2,555	-2,382	-2,414	-2,766
営業総利益	1,357	1,470	1,441	1,360	1,561	1,613	1,287
リスク費用	-299	-417	-357	-678	-592	-765	-739
営業利益	1,057	1,053	1,084	682	969	848	548
持分法適用会社投資損益	105	113	100	56	107	116	75
その他の営業外項目	40	-12	57	22	-9	-3	12
税引前利益	1,202	1,154	1,242	759	1,067	960	634
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.1	29.0	29.0	29.2	29.3	29.8	29.8
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,271	1,319	1,332	1,365	1,343	1,302	1,475
営業費用および減価償却費	-644	-700	-763	-687	-641	-641	-787
営業総利益	627	619	568	678	703	661	688
リスク費用	-303	-344	-321	-581	-383	-450	-582
営業利益	324	276	248	97	320	211	105
持分法適用会社投資損益	16	-2	16	-4	7	-5	8
その他の営業外項目	36	-9	1	-60	-11	4	0
税引前利益	376	264	264	33	315	210	113
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.8	7.8	7.8	7.9	8.0	8.1	8.1
欧州・地中海沿岸諸国部門 (トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの100%を含む)¹							
営業収益	511	464	516	527	561	609	665
営業費用および減価償却費	-383	-394	-433	-402	-405	-414	-490
営業総利益	128	71	84	125	156	196	175
リスク費用	-15	-58	-39	-95	-113	-143	-86
営業利益	113	12	45	30	43	53	89
持分法適用会社投資損益	71	77	40	33	52	53	55
その他の営業外項目	-1	-7	-41	18	-1	-25	3
税引前利益	183	82	43	80	93	80	147
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-2	-3	-2	-2	-1	-3
欧州・地中海沿岸諸国部門税引前利益	182	80	41	78	91	79	144
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.0	5.0	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3
欧州・地中海沿岸諸国部門 (トルコおよびポーランドの国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	508	461	512	523	557	606	660
営業費用および減価償却費	-381	-392	-431	-401	-403	-411	-488
営業総利益	127	69	82	122	154	194	172
リスク費用	-15	-58	-39	-95	-113	-143	-86
営業利益	112	10	43	28	41	51	86
持分法適用会社投資損益	71	77	40	33	52	53	55
その他の営業外項目	-1	-7	-41	18	-1	-25	3
税引前利益	182	80	41	78	91	79	144
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.0	5.0	5.1	5.1	5.2	5.3	5.3

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
バンクウエスト（米国プライベート・バンキングの100%を含む） ¹							
営業収益	588	587	625	594	627	629	611
営業費用および減価償却費	-425	-406	-407	-423	-403	-432	-465
営業総利益	163	182	218	171	224	197	146
リスク費用	23	-8	7	-3	-90	-167	-62
営業利益	186	173	224	168	134	30	83
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	9	3	2	0	2	-3	0
税引前利益	195	176	226	168	136	27	83
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-6	-5	-7	-6	-6	-5	-5
NRBI	189	171	219	162	130	22	78
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	4.9	5.0	5.0	5.5	5.6	5.7	5.7

(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
バンクウエスト（米国プライベート・バンキングの2/3を含む）							
営業収益	572	571	609	578	612	614	596
営業費用および減価償却費	-415	-395	-398	-413	-394	-422	-455
営業総利益	157	176	211	165	218	192	141
リスク費用	23	-8	7	-3	-90	-167	-62
営業利益	180	168	217	162	128	25	78
営業外項目	9	3	2	0	2	-3	0
税引前利益	189	171	219	162	130	22	78
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	4.9	5.0	5.0	5.5	5.6	5.7	5.7

(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
保険部門							
営業収益	613	767	792	622	697	828	579
営業費用および減価償却費	-376	-367	-383	-385	-347	-339	-393
営業総利益	237	399	409	237	350	489	186
リスク費用	0	-1	0	0	0	-2	1
営業利益	237	399	409	237	350	487	187
持分法適用会社投資損益	-2	25	33	16	35	39	1
その他の営業外項目	-4	0	0	0	0	21	9
税引前利益	231	424	442	253	384	548	197
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	9.2	9.1	9.0	8.6	8.6	8.5	8.6

(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ウェルス&アセット・マネジメント部門							
営業収益	859	830	784	826	734	678	743
営業費用および減価償却費	-651	-624	-612	-669	-598	-601	-642
営業総利益	208	206	172	157	136	77	101
リスク費用	-3	-6	-4	1	-6	-4	-9
営業利益	205	201	167	159	130	74	92
持分法適用会社投資損益	19	13	12	11	14	28	11
その他の営業外項目	0	2	96	63	1	0	0
税引前利益	224	215	275	233	146	102	102
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1

1. プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
ホールセールバンキング部門							
営業収益	3,588	3,714	3,670	3,315	3,372	4,123	2,953
営業費用および減価償却費	-2,243	-2,042	-2,767	-2,190	-2,117	-2,220	-2,393
営業総利益	1,346	1,672	903	1,125	1,255	1,904	560
リスク費用	-24	-57	-172	-432	-310	-319	-363
営業利益	1,322	1,615	731	692	945	1,585	197
持分法適用会社投資損益	9	10	9	8	3	-3	3
その他の営業外項目	0	12	11	9	7	6	2
税引前利益	1,331	1,637	751	710	955	1,587	202
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	25.8	25.3	25.0	24.5	24.7	24.3	22.3
コーポレートバンキング部門							
営業収益	1,282	1,238	1,243	1,281	1,118	1,258	1,070
営業費用および減価償却費	-640	-589	-755	-645	-598	-632	-748
営業総利益	642	649	488	636	520	627	321
リスク費用	-24	-64	-185	-430	-311	-366	-201
営業利益	618	585	303	206	209	261	121
営業外項目	-2	9	6	6	2	-2	3
税引前利益	616	594	309	212	211	259	124
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	14.0	13.5	13.6	13.5	13.6	13.6	13.0
グローバル・マーケット部門							
営業収益	1,731	1,904	1,846	1,498	1,711	2,304	1,306
うちFICC	896	1,148	1,149	1,002	1,245	2,013	1,392
うち株式およびプライムサービス	835	757	697	497	466	290	-87
営業費用および減価償却費	-1,137	-999	-1,527	-1,089	-1,065	-1,137	-1,162
営業総利益	594	905	319	410	646	1,167	143
リスク費用	-2	5	14	-2	1	45	-161
営業利益	592	910	333	407	647	1,212	-17
持分法適用会社投資損益	2	5	2	2	0	-2	1
その他の営業外項目	4	2	3	0	0	3	0
税引前利益	598	917	339	409	648	1,214	-17
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	10.7	10.7	10.4	10.0	10.1	9.8	8.4
証券管理部門							
営業収益	575	571	581	536	544	561	577
営業費用および減価償却費	-465	-454	-485	-457	-454	-451	-482
営業総利益	110	117	96	79	89	109	95
リスク費用	2	2	-1	1	0	2	-2
営業利益	112	120	95	79	89	111	93
営業外項目	5	6	8	9	7	3	2
税引前利益	117	126	103	89	96	114	95
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9



(単位：百万ユーロ)

	3Q21	2Q21	1Q21	4Q20	3Q20	2Q20	1Q20
コーポレート・センター							
営業収益	11	162	314	-241	-165	-78	126
営業費用および減価償却費	-183	-222	-331	-283	-165	-329	-114
うち事業改変、再編および適応費用	-62	-71	-77	-150	-84	-75	-79
営業総利益	-172	-59	-17	-524	-330	-406	12
リスク費用	-40	-64	-55	-29	3	-33	-13
営業利益	-212	-123	-72	-554	-327	-439	-1
持分法適用会社投資損益	13	-20	20	4	16	17	18
その他の営業外項目	-61	298	292	421	36	102	381
税引前利益	-260	155	239	-129	-275	-320	398



連結貸借対照表－2021年9月30日現在

(単位：百万ユーロ)	2021年9月30日	2020年12月31日
資産		
預金および中央銀行預け金	388,231	308,703
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング目的有価証券	266,303	167,927
貸出金および売戻契約	296,796	244,878
デリバティブ金融商品	244,187	276,779
ヘッジ目的デリバティブ	9,380	15,600
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産		
負債性金融商品	42,492	55,981
資本性金融商品	2,575	2,209
償却原価で測定する金融資産		
金融機関貸出金および債権	31,118	18,982
顧客貸出金および債権	835,693	809,533
負債性金融商品	121,196	118,316
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	3,607	5,477
保険事業に係る金融商品	275,376	265,356
当期および繰延税金資産	6,112	6,559
未収収益およびその他の資産	150,521	140,904
持分法適用会社投資	6,269	6,396
有形固定資産および投資不動産	34,584	33,499
無形固定資産	3,803	3,899
のれん	7,424	7,493
資産合計	2,725,667	2,488,491
負債		
中央銀行預金	5,761	1,594
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング目的有価証券	132,012	94,263
預金および買戻契約	334,839	288,595
負債証券	69,702	64,048
デリバティブ金融商品	245,706	282,608
ヘッジ目的デリバティブ	9,964	13,320
償却原価で測定する金融負債		
金融機関預金	205,753	147,657
顧客預金	1,022,323	940,991
負債証券	168,500	148,303
劣後債	24,334	22,474
金融リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	2,709	6,153
当期および繰延税金負債	3,309	3,001
未払費用およびその他の負債	120,722	107,846
保険会社の責任準備金	249,985	240,741
偶発債務等引当金	9,285	9,548
負債合計	2,604,904	2,371,142
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	108,683	106,228
親会社株主帰属当期純利益	7,182	7,067
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	115,865	113,295
資本に直接認識される資産および負債の変動	304	-496
親会社株主資本	116,169	112,799
少数株主資本	4,594	4,550
連結資本合計	120,763	117,349
負債および連結資本合計	2,725,667	2,488,491



代替的業績指標（Alternative Performance Measures: APM） - フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書 (P/L) (各事業部門の営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の損益計算書の合計 (なお、国内市場部門の損益には、フランス、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む) BNPパリバ・グループ損益計算書 =事業部門 + コーポレート・センターの損益計算書の合計 グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 (各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベート・バンキングの100%を含むリテールバンキング事業の損益計算書の合計	プライベート・バンキング全体の損益を含むリテールバンキング事業の損益計算書の合計 グループの調整後の損益計算書の合計は「四半期業績の推移」の表で開示	リテールバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む (プライベート・バンキングは、リテールバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
営業費用の変化 (IFRIC 21を除外後)	IFRIC 21に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC 21に基づく税金・拠出金は上半期に第3四半期累計期間のほぼ全額が計上される。第3四半期累計期間の営業費用からIFRIC 21を除外し、他の期間との比較の際の混乱を避け、営業費用の変化をとらえる指標。
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用÷期首顧客向け融資残高 (単位: bp)	リスク費用 (単位: 百万ユーロ) を期首の顧客向け融資残高で除したもの 詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産 (ステージ3) の引当金と当該資産 (ステージ3) の減損後残高との関係を表す指標。 対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む (保険事業を除く)	不良債権に対する引当の状況を表す指標
一時項目を除く株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門： 以下の3部門から成る。

- 国内市場部門：フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNLバンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB）を含む）
- 国際金融サービス部門（IFS）：欧州・地中海沿岸諸国部門、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険部門、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAMには、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる。
- ホールセールバンキング部門（CIB）：コーポレートバンキング部門、グローバル・マーケット部門、証券管理部門を含む



堅実なビジネスモデルで力強い業績を実現.....	2
リテールバンキング&サービス事業	6
国内市場部門.....	6
国際金融サービス部門.....	11
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	16
コーポレート・センター	18
財務構造.....	19
連結損益計算書.....	20
2021年度第3四半期－コア事業別業績.....	21
2021年度1-9月期－コア事業別業績.....	22
連結四半期業績の推移.....	23
連結貸借対照表－2021年9月30日現在.....	32
代替的業績指標（Alternative Performance Measures: APM）－フランス金融市場庁（AMF）の 一般規則第223-1条に基づく開示.....	33

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述は、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス（Supervisory Review and Evaluation Process：SREP）」は欧州中央銀行（ECB）により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNPパリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 42 98 46 45

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Philippe Regli +33 (0)1 43 16 94 89

Debt Investor Relation Officer

Claire Sineux +33 (0)1 42 98 31 99

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas/en>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**